

事務事業名		美術博物館市民ギャラリー活用事業			会計	一般会計					
課等名		美術博物館			事業種別	政策		開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	27	文化芸術の振興							
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民、高校生、小中学生)。				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	市民の文化芸術活動が盛んになる					圏域住民数(人)			166860	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	使用する個人・団体数			30	42	30				
	成果指標	観覧者数			13000	19276	13000				
	定性目標										
事業概要	自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人・団体が使用できる。										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 市民ギャラリーの使用が公平になるよう使用抽選会を開催し、使用者を決める。(前年度2月第1日曜日) 2 市民ギャラリーの使用(展示撤収)が円滑にできるよう展示備品を準備し、作業のサポートを行う。 3 市民ギャラリーの展示内容を告知する。 4 展示・撤収の作業				1 使用した個人・団体数 3 観覧者数			1 42 2 19,276人			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		0	1,446	1,203	1,419						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源			1,446	1,203	1,419						
人件費計(千円)②		0		36							
正規職員所要時間				10							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		0	1,446	1,239	1,419						
事業内容・目標達成状況の振り返り	開館日の使用可能な日は、ほぼ展示をおこなうことができたため、使用者数、観覧者数ともに目標を達成できた。										
改革改善の考え方	①問題点	受益者負担について見直す。									
	②改革提案	電気料程度の使用料の徴収。									